



千地申
第10号

4月27日交渉
その①

「京葉乗務ユニットにおける近隣施設 夜間工事に伴うホテル宿泊について」 に関する申し入れ団体交渉を行う！

1. 京葉乗務ユニット泊まりの行路については、到着および起床点呼をホテルで点呼可能とすること。また、京葉乗務ユニットから宿泊ホテルまでの移動時間については労働時間として取り扱うこと。

【会社回答】

点呼については、運用行路表で指定された箇所等で実施するものであり、現時点では今回の工事に伴い到着および出場点呼の方法等を変更する考えはない。

なお、労働時間については、就業規則等に則り取り扱うこととなり、点呼箇所と休養室間の移動時間を労働時間として取り扱う考えはない。

【交渉の特徴点】

○ホテル泊に至った経緯

- ・2025年4月に近隣施設の工事(他会社)のため、京葉乗務ユニット・施工主の工事担当者・駅の工事担当者の3者で打ち合わせが行われる。その後、首都圏本部に対して内容が共有される。
- ・工事施工会社から20箇所以上の候補を示されたが、最終的に現行宿泊している2箇所のホテルとした。
- ・会社として、仮の休養室として東京駅・東京乗務ユニット・丸の内乗務ユニット等を検討してきたが、毎日一定数の休養室を確保することが出来なかった。
- ・2026年2月の定例訓練にて社員周知を実施し、3月からホテル泊が開始された。

○工事期間について

【組合】現在、御茶ノ水駅においても工事が行われているが、当初示されていた期間よりも延長されている実情がある。今回の工事についても延長することもあるのか？

【会社】工事期間については、若干遅れる可能性がある。工事期間内に終了するよう施工会社とは連絡を取っている。連絡が来るタイミングは1ヶ月前になる。延長ありきでは考えていない。

【組合】近隣施設の工事期間はいつまでに終了するのか？

【会社】具体的には示されていない。

【組合】現在の工事が延長となった場合、引き続きホテル泊の可能性はあるのか？

【会社】7月末までに工事が終わるようにしているが確約はできない。

○点呼箇所からホテルまでの移動時間を労働時間とすることについて

【組合】ホテル泊となることで到着点呼から起床点呼まで32分間睡眠時間が削減されている。睡眠時間が削減される事について、会社としてどのように考えているのか？

【会社】睡眠時間が短くなることは乗務員にとって大変な事だと考えているが、到着点呼から起床点呼まで4時間30分以上睡眠時間が確保されているので設定した。

【組合】点呼箇所から休養室まで時間が割かれるので、労働時間を付けるべきではないか？

【会社】会社としては、工期が延びないように首都圏本部とも調整している。工期が延びない事が理想。

2022年3月ダイヤ改正からの移動時間については、「乗務員の業務等の見直しについて」の実施によって労働時間としないこととなっている。

【組合】点呼箇所から休養室に向かう時間は労務時間を提供していないという認識か？

【会社】その通りである。

その②に続く



千地申
第10号

4月27日交渉
その②

「京葉乗務ユニットにおける近隣施設 夜間工事に伴うホテル宿泊について」 に関する申し入れ団体交渉を行う！

○ホテル点呼について

- 【組合】組合員・社員から京葉乗務ユニットへ泊まる事が出来ないのかとの声が上がっている。
【会社】そのような声も聞いているが、工事で発生する騒音が大きい事からホテル泊とした。
【組合】実際に当直は京葉乗務ユニットに泊まっている。
【会社】実際に泊まると何度も起きてしまうと聞いている。どの部屋からも騒音が聞こえ、特に女性寝室が一番騒音が大きい。
【組合】ホテルでの点呼に変更するべきではないか。
【会社】京葉乗務ユニットに点呼が出来る機能が残っているので難しい。
【組合】船橋・蘇我の車掌は乙が休日になると、30分以上睡眠時間が削られるため、十分な睡眠時間が確保できない等様々な理由で年休を取る組合員・社員がいるのが現状である。柔軟な働き方の視点で言えば、到着後その場で電話点呼をしてホテルに移動出来るのではないかと声が多く上がっている。
【会社】工事期間については、施工会社に連絡を取って確認していく。延長になる場合は1ヶ月前までには周知出来るようにしていく。
【組合】宿泊する部屋が毎日一緒であれば、目覚まし時計やアルコール検知器も部屋に置けるのではないかと声もある。7月末まで泊まる部屋を固定して目覚まし時計とアルコール検知器を設置出来ないのか？
【会社】需要と供給の関係があり、部屋の固定は出来ないとホテル側から言われている。
【組合】上層階の部屋に宿泊した際にエレベーターに中々乗れないと言った声も聞いているが、泊まる階についても日ごとに異なるのか？
【会社】泊まる階数についてもランダムである。極力低層階でエレベーターに近い箇所にしてもらうようホテルと調整している。
【組合】ホテルに点呼機能に移す考えはあったのか？
【会社】ホテル側からアル検機器等の管理が出来ないため断られた。
【組合】これまでに乗泊の取り壊し等で、点呼箇所が変更になったことはあるのか？
【会社】過去にはあった。現在我孫子乗務ユニットでは、松戸泊りで工事を行っており、点呼箇所が変更となるので変行路として対応している。
【組合】東京駅到着後ホーム上からの電話点呼は出来ないのか？
【会社】睡眠時間を4時間30分以上確保していることからそのような考えはない。
【組合】睡眠時間の重要性についてどのように考えているのか？
【会社】安全確保のため睡眠時間は重要である。
【組合】到着点呼が終了して京葉乗務ユニットからホテルまで15分以上徒歩移動となるが、ホテルに到着した確認が取れていないのではないかと？ホテル点呼となれば、ホテルに到着した確認を取れるのと、睡眠時間も確保できるメリットがあるが変更とならないのか？
【会社】到着点呼終了後、一定時間が経過するとホテルから京葉乗務ユニットへ「乗務員が到着していない」と電話連絡がくるようになっている。組合側から提起された安全面についても重々承知している。
【組合】ホテルへの移動中に怪我等が発生した場合は労災となるのか？
【会社】移動中の怪我等は労災となるが、ケースバイケースでの対応となる。

組合員の声をもとに団体交渉を行い、睡眠時間の重要性について認識一致！
様々な視点から議論し、検証運動を職場からつくり出そう！